

富士市中小企業景況調査結果

令和5年度 第2四半期【令和5年7月～9月】

令和5年10月
富士商工会議所調べ

◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。
製造・建設・卸売・小売・サービス業の5産業、207事業所(回収率63.3%)を対象に、「令和5年7月～9月」の3ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

DI(景気動向指数)とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…令和5年4月～6月 今期…令和5年7月～9月 来期…令和5年10月～12月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

◇ 今期調査の概況 ◇

| 前期・今期と比べたDI値の動き | | ↗改善 | →横ばい | ↘悪化 | |
|-----------------|-------|-----|------------------|------|-------|
| 主要DI | 前回調査 | | | 来期予測 | |
| 業況 | ▲8.4 | → | ▲10.9 (▲18.9) | ↗ | ▲5.5 |
| 売上 | 13.9 | ↘ | 6.8 (▲4.0) | ↗ | 20.3 |
| 採算 | ▲14.6 | ↘ | ▲21.3 (▲31.7) | ↗ | ▲16.3 |

今期調査では、全産業合計の業況DIが-2.5ポイント、売上DI-7.1ポイント、採算DIが-6.7ポイントの悪化となった。来期の予測について業況・売上・採算DIのいずれも改善の予想となった。業種別の来期業況DIは、製造業・卸売業・小売業は上昇、サービス業は横ばい、建設業は下降を予想。売上DIは、製造業・建設業・小売業・サービス業で上昇、卸売業で横ばいを予想。採算DIは、製造業は上昇、卸売業・小売業・サービス業は横ばい、建設業は下降を予想となった。

全体を通して、値上げに踏み切るもコスト増加分を補うだけの価格交渉は出来ていないという声が多かった。バラつきはあるが、コロナ5類移行後の改善傾向に関する声もあり、それにより業務多忙・人手不足であるという声もあった。

経営上の問題点では、サービス業では「人件費高騰」、他の4業種では「商品、原材料仕入れ価格の上昇」がそれぞれ1位となった。

◇ 全産業の動き ◇

〔業況のDI〕 製造業は上昇、建設業・卸売業は横ばい、小売業・サービス業は下降。

来期は製造業・卸売業・小売業は上昇、サービス業は横ばい、建設業は下降を予想。

| 業種 | 前期 | | 今期(前年同期) | | 来期予測 |
|-------|-------|---|---------------|---|-------|
| 製造業 | ▲34.2 | ↗ | ▲27.7 (▲27.6) | ↗ | ▲13.9 |
| 建設業 | 0.0 | → | 0.0 (▲7.2) | ↘ | ▲12.5 |
| 卸売業 | ▲10.5 | → | ▲13.6 (▲4.4) | ↗ | 0.0 |
| 小売業 | 0.0 | ↘ | ▲20.0 (▲23.8) | ↗ | ▲6.3 |
| サービス業 | 14.3 | ↘ | 6.6 (▲30.8) | → | 6.6 |
| 全産業 | ▲8.4 | → | ▲10.9 (▲18.9) | ↗ | ▲5.5 |

〔売上高のDI〕 サービス業は上昇、卸売業は横ばい、製造業・建設業・小売業は下降。

来期は製造業・建設業・小売業・サービス業で上昇、卸売業で横ばいを予想。

| 業種 | 前期 | | 今期(前年同期) | | 来期予測 |
|-------|------|---|--------------|---|------|
| 製造業 | 13.2 | ↘ | 0.0 (▲6.9) | ↗ | 27.8 |
| 建設業 | 14.8 | ↘ | 0.0 (▲10.7) | ↗ | 8.3 |
| 卸売業 | 15.8 | → | 13.7 (19.1) | → | 13.7 |
| 小売業 | 17.7 | ↘ | 0.0 (▲4.8) | ↗ | 18.8 |
| サービス業 | 10.3 | ↗ | 18.8 (▲12.0) | ↗ | 26.6 |
| 全産業 | 13.9 | ↘ | 6.8 (▲4.0) | ↗ | 20.3 |

〔採算のDI〕 卸売業・サービス業は横ばい、製造業・建設業・小売業は下降。

来期は製造業は上昇、卸売業・小売業・サービス業は横ばい、建設業は下降を予想。

| 業種 | 前期 | | 今期(前年同期) | | 来期予測 |
|-------|-------|---|---------------|---|-------|
| 製造業 | ▲26.3 | ↘ | ▲36.1 (▲46.4) | ↗ | ▲13.9 |
| 建設業 | ▲10.7 | ↘ | ▲16.0 (▲35.7) | ↘ | ▲25.0 |
| 卸売業 | ▲21.1 | → | ▲22.8 (▲8.7) | → | ▲22.7 |
| 小売業 | ▲11.8 | ↘ | ▲31.2 (▲23.8) | → | ▲31.3 |
| サービス業 | 0.0 | → | ▲3.1 (▲38.5) | → | 0.0 |
| 全産業 | ▲14.6 | ↘ | ▲21.3 (▲31.7) | ↗ | ▲16.3 |

◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

【製造業】 景気ムード…【厳しい状況】

『製紙』…総じて改善傾向という声が多かった。「比較的安定している」「前期と比較し販売数量は少ないが、単価が上がったことで売上が増加している。製造コストが上がっているが、電気・ガスの補助があるおかげで僅かに収益が出ている状況。燃料補助がいつまでも続くわけではないので、出来れば再度値上げをしたい」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「2024年の物流問題及びエネルギーの補助停止によっては、更なる値上げが必要となる」「来年早々には燃料補助はなくなると思うが、製造コストが一気に跳ね上がると厳しい」とのコメントが寄せられた。

『紙加工』…総じて改善傾向という声が多かった。「コロナ5類移行により受注量は若干増加。取引先の理解により販売単価も上昇」「原材料価格の高騰が落ち着いてきており、このまま高止まりするのかどうかを注視する必要がある」「家庭紙の需要については、業務用がコロナ前の水準に近づいてきている。PPC紙ではペーパーレス化の影響があり以前ほどの期待はできない」「コロナ5類移行に伴い、人流・物流が増加しているはずだが、段ボールの需要はコロナ前の水準まで戻っていない。今が底で受注数は今後伸びるとみているが、確証はなく未だ不安定」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「燃料費の高騰が懸念されるが、10月以降も補助が継続されるということで一安心。ウクライナ戦争の長期化による原材料入手の困難が前年以上に懸念される」「多少の増減はあるものの改善に向けて順調に推移していくと思われる。インボイスの影響がどのくらい出るのが不安材料である」「コロナ融資の返済ができずに倒産する企業は増える恐れがあり、当社も影響を受ける。円安による負担増、物流の2024年問題、物価上昇に伴う賃上げなど、採算悪化の要因は多い」とのコメントが寄せられた。

『金属加工』…総じて需要低迷に関する声が多く寄せられた。「射出成形機の需要低迷により、受注がかなり落ち込んでいる」「悪化している」「業界としては構造不況であり、2030年までには大変革が確実に起こると思われる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「現状では、先が見えない状態が続いている」「生成AIなど利用すると、人間だと7日間かかる作業がAIでは10秒で出来てしまうといったことが本当に起きている。この業界にも必ずAIの影響は出ると考えられる」とのコメントが寄せられた。

『金型部品』…「業界全般に明るい兆しは見られず、ここ数年企業間格差が拡大している」「どの企業も頑張らなければならない」「来年度は少しずつ改善に向かう兆しがみられる」とのコメントが寄せられた。

『金属製品』…「企業の設備投資は増えてきていると感じる。今期は受注量が増え利益も出ている。ただ、コストの影響で短期間での値動きが大きく、見積り件数が増え対応が忙しい」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「受注量が増え売上が伸びるのは嬉しいが、人員不足の問題を抱えており、製造業の先行きの不安を常に感じている」とのコメントが寄せられた。

『自動車部品』…「自動車生産は増加するがコストが見合わない。労務費過多状態が続く上、人材不足でもある」とのコメントが寄せられた。

『機械器具』…「ウクライナ情勢とEU圏でのエネルギー事情により、生産機種の変動が多く、輸出の減少が続いている」「自動車関連では、新車種の立ち上げ件数が少なく設備需要は低調」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「自動車関連では今年度は新車種の立ち上げ件数が少なく設備需要は低調に推移したが、今後は新車種設計業務の負荷は重くなってくるようなので、新車種立ち上げ件数増加に期待したい」とのコメントが寄せられた。

『**衣料・繊維加工**』…「来年春に向けて販売先で値上げをする見込み。やっと価格交渉が進む見通しとなった」「アパレル関連商品の需要は順調だが、産業資材関連の商品の落ち込みが大きくなってきている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「中国経済の落ち込みが思っていたよりも大きい。中国向けの輸出が滞るのではないかと懸念される」とのコメントが寄せられた。

『**印刷**』…「製造に関連する全ての資材が値上がりした結果、製品価格も上がり、紙離れが加速している」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「紙離れの原因は価格による部分が多い。広告は SNS など安価で簡単に出来るものによって変わっていく流れは変わらない」とのコメントが寄せられた。

『**食品**』…総じて、原材料価格の高騰に関する声が多かった。「国際相場の上昇と為替円安の影響により満額とはいかないが価格改訂を実施した。しかし更に仕入価格が上がっており、来春にむけて再度の値上げ交渉を進めなければならない。価格改訂により販売数量は低下している」「売上高は変わらないが、原材料、物流費、包材などの価格上昇の影響により、利益が確保できない状況が続いている」「円安による原料価格の高騰が続く」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「原材料価格など的高騰により、値上げせざるを得ないが、値上げによる売上への影響が懸念される」「価格転嫁できれば見通しは明るい」とのコメントが寄せられた。

『**飲料**』…「生産者が減少して、茶畑が荒れてくる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「同じ事をしている変わらないので、情報収集等を徹底して新たな一手を模索しながら、チャレンジしていきたい」とのコメントが寄せられた。

『**その他**』…「親会社の経営母体の変更による生産減」「富士市は地域を牽引するだけの力を持つ大企業が存在しない。富士宮は不況に強い医療医薬の大手企業があり、静岡市清水区ではEVでも成長が見込まれる自動車部品の大手企業がある。今後富士市がどのような産業で発展していくのかを良く考え対応していく必要がある」「いよいよインボイスが始まる。関係資料等は常に目を通して、面倒としか言いようがない」「田畑を埋め立てて造成された工業地域では、昨今のゲリラ豪雨により浸水被害を耳にする。今後用水路拡張や貯水池の確保が必要になると思う」とのコメントが寄せられた。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期DI | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業況 | 16.7 | 38.9 | 44.4 | ▲27.7 | 上昇 |
| 売上高 | 30.6 | 38.9 | 30.6 | 0.0 | 上昇 |
| 採算 | 11.1 | 41.7 | 47.2 | ▲36.1 | 上昇 |

【建設業】 景気ムード…【低調】

『**総合建設**』…総じて諸経費高騰を懸念する声が多かった。「民間ではインフレによる収益停滞が設備投資の足かせとなり、建設業界にマイナス影響を与えている。また、資材価格の上昇の影響も続いている。今後、施主との協同による事業計画を進め、工事受注を進めることが重要になってくる」「民間工事は、受注価格競争の激化が深刻。資機材、燃料、労務費等が増加しており、受注できても見込んだ利益が確保できない状況だ」「大きなマイナス要因がない」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「世情を読み取り、先を見据えた営業を行っていかねば業績拡大へ繋がらないと考える」「建設関連のコスト増加の流れは変わらない。受注価格は、上昇傾向にならざるを得ないので、顧客（発注

者)側の設備投資が慎重になり、投資見送りや中止が増えてくることが予想される」「引き続き人材不足の解消と新人の定着が課題となりそうだ」とのコメントが寄せられた。

『**一般住宅**』…総じて資材高騰を懸念する声が多かった。「一戸あたりの単価は上昇している。ウッドショックの影響で、木材は大手の工務店等に流れ、小規模の事業者が個々に仕入れるのは難しい」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「材料費の高騰がいつまで続くのか見通しがたたない」「外注先の職人のインボイス登録が進んでいる」とのコメントが寄せられた。

『**造園土木**』…「公共工事の発注が少ない。景気が良くなってほしい」とのコメントが寄せられた。

『**土木関連**』…「各ハウスメーカーでは、原材料価格の高騰により、一般住宅の受注に苦慮していて、必然的に解体工事が減少している。産業廃棄物では、リサイクル砕石製品の需要が少なく、どこの工場でも在庫が過剰にある。燃料・電気代の高騰、原材料費の高騰でどこも厳しい。今後、工事案件は更に少なくなっていくだろう」とのコメントが寄せられた。

『**設備工事**』…総じて資材高騰を懸念する声が多かった。「人手不足により工程管理が難しくなっている」「原材料費の値上げが受注額に比例しない」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「競争力の低下と過当競争で今後の見通しは厳しい」「材料、燃料の更なる値上がりが懸念される」「コロナ融資の返済が始まり、毎月の資金繰りが厳しくなりそう」とのコメントが寄せられた。

『**その他**』…「人材不足が続く」「設備投資が芳しくない様子」「インボイス、電帳法の二大改正による事務処理負担が大きい」「ジヤトコ新橋寮の跡地に様々な企業(工場・倉庫等)の計画があったが実現には至らなかった」「コロナ5類移行により少し動きが出てきたので、集客や雇用が増大するような施設や企業を誘致して欲しい」「新富士インター周辺の開発により雇用が増加するだろう。会議所でもバックアップしている西富士道路の改善を推進してほしい」とのコメントが寄せられた。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期D I | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業 況 | 12.0 | 76.0 | 12.0 | 0.0 | 下 降 |
| 売上高 | 20.0 | 60.0 | 20.0 | 0.0 | 上 昇 |
| 採 算 | 12.0 | 60.0 | 28.0 | ▲16.0 | 下 降 |

【卸 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『**機械器具**』…総じてコスト増加分の販売価格への転嫁に苦慮している声が多かった。「中国の不況の影響が少なからずある。販売価格の値上げについて顧客が理解を示してくれるので助かっているが、コスト上昇分の全てを補う金額アップは難しいため、利益率は低下傾向である」「仕入れ元の値上げの要請に対し、販売先に対して値上げの要請が出来ていないのが現状である」「売上は増加しているが、物価高騰による利益の減少で資金繰りが厳しい。融資の返済が始まり、今後更に資金繰りが厳しくなる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「今期までは業績を維持できたが、来期以降は不透明である。特に大口の案件が減少傾向にある。省エネ製品は引き合いと受注が増加傾向にある」「6月頃より国の補助がなくなり売上減少と物価高騰が相まって非常に苦しい」「富士駅周辺の再開発に伴い新規レストランや商業施設の建設が続く。そのプロジェクトに関連した設備の需

要を見込んで地域の建設ブームやインフラ投資に注目している」「生産設備の需要増加に伴い受注増加を予想。ホテルや飲食店の新規開業等の活発な動きが予想される。販売設備の需要の増加により販売も好調予想。特に関心の高まる省エネや環境に付加価値付きの設備への需要が高まる」とのコメントが寄せられた。

『自動車部品』…「業界全体として売上は昨年並みから 2~3%程度の減少で維持している模様。物価高騰や、HV 車の普及により補修部品の需要減が影響している。しばらくは現状が続くと考えられる」とのコメントが寄せられた。

『建築材料』…「日本最大手の米松製材所で火災が発生した。それにより木材価格は値上がり傾向である。円安が進んでいるので、更に価格は上昇すると予測」とのコメントが寄せられた。

『製紙原料』…総じて製紙原料の減少を不安視する声が多かった。「ペーパーレスで古紙が減少している。その反面、メーカーの生産調整で古紙は品物によっては余り気味のものもある。輸出も中国が動かないと思うようには回っていかない」とのコメントが寄せられた。

『金属部品』…「中小零細は、ニッチな領域で強みを見出せないのであれば、価格争奪戦に踏み込まざるを得ない。しばらくはコロナ禍明け V 字回復の余波が期待できると思われる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「長期金利の上昇が進むと資金調達が厳しくなる。為替と物価が安定すれば、大きく悪化することはないのではないか」とのコメントが寄せられた。

『再生資源』…総じて中国の影響による需要の減少に関する声が多かった。「鉄、非鉄スクラップの最大需要国である中国が、コロナや不動産不況の影響で設備投資が減少して低迷である。一方で東南アジア諸国の水害、台風被害のため復興需要が高まっている」「鉄鋼製品の需要減により製品価格、原材料価格共に低水準が続いた。最近の為替の影響で改善の動きが出てきた」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「中国経済の立ち直りと、エネルギー価格上昇をいかに止めるか政府の手腕による」とのコメントが寄せられた。

『工業薬品』…総じて製紙生産量の鈍化と仕入値の高騰を不安視する声が多かった。「製品在庫が増加し、生産調整をする取引先が出て来た」「工場の再構築が進み、生産方法により劇的に生産量が伸びたものや減少したものがある」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「インバウンド需要による製紙需要の改善に期待」「全く先の事がわからず厳しい状況が続く。以前にもまして社会のあり方に戸惑いを感じるようになった」とのコメントが寄せられた。

『その他』…「産業全体で売上・利益の減少が目立つ」「コロナ 5 類移行に伴い、空調とセットで導入することが主流であった換気設備の需要は下がると見込んでいる」「近隣エリアで危機感を抱くような事業倒産などの信用不安は聞かない。県東部は比較的落ち着いた市民生活が維持されているように見える」「人流を喚起するイベントを期待する」「インボイス制度は事務処理ばかり増して、本当に面倒な制度である」「ペーパーレスにより大手製紙会社が家庭紙に移行し、中小各社との価格面での競争がある」「インバウンドや、大手ショッピングセンターの誘致等で人が訪れるまちにしたい」とのコメントが寄せられた。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期 D I | 来期予測 |
|-----|------|------|------|--------|------|
| 業 況 | 18.2 | 50.0 | 31.8 | ▲13.6 | 上 昇 |
| 売上高 | 36.4 | 40.9 | 22.7 | 13.7 | 横ばい |
| 採 算 | 13.6 | 50.0 | 36.4 | ▲22.8 | 横ばい |

【小 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『衣類』…「製造工場の廃業、問屋の縮小等が生じている。需要の減少を反映していて、全体が盛り上がらない」とのコメントが寄せられた。

『各種食料品』…「高温・気候異常により秋の味覚等にも変化があり、季節感の演出に苦労している」「暑さが平日の来店客数減少に影響を与えている」とのコメントが寄せられた。今後に見通しについては「設備の不良が重なり、対応に追われている。補助金を活用して設備の入れ替えを思案している」とのコメントが寄せられた。

『家電』…「電気代の値上がりにより省エネ型エアコンが注目されている。LED照明等省エネ商品に力を入れていきたい」とのコメントが寄せられた。

『生花』…「イベントや会合など人の集まる機会の増加に伴い、花の需要が増加している。仕入価格の上昇が利益を圧迫している」とのコメントが寄せられた。

『日用品・雑貨』…「小規模小売店では免税事業者もいる為、インボイス制度の影響で廃業する店がかなりあると聞いている」「先日ビッグサイトで開催された見本市ギフトショーを数年ぶりに見学してきた。かつては木製玩具メーカーの出展が多かったが、今回は数社のみだった」「少子化の影響で、ベビー・幼児用品のみ扱ってきたメーカーはいよいよ苦境に立たされている」「観光土産用品は活況である。ギフトショーでも新規出展が増加傾向であった」「福島原発処理水放出に対する中国の対応が水産物にとどまらず、他分野の輸入規制に拡大していることで、国内メーカーの業績に影響している」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「多忙で通販サイトの再構築がなかなか進まない。専門業者に頼む事も考え始めている」「インボイス制度や電子帳簿法の余波が心配」「コロナの余波により景況改善にはまだ至らない」「年末に少しずつ向上するように期待する」とのコメントが寄せられた。

『自転車』…「小売価格の上昇は続いているが、一部のメーカーでは値下げ傾向も見られる。各メーカーが新モデルを発表する時期なので、価格の動向を見守っていきたい」とのコメントが寄せられた。

『その他』…「吉原商店街では、店舗改装工事が数件ある。吉原の賑わいに繋がれば良いと考える」「コロナも落ち着いているように見えるが、周囲ではインフルエンザと合わせて流行が広がり、臨時休業する店舗も出てきている」「9月中旬現在、吉原商店街では5件の新規改装工事が施工されている。更にあなたも商店主で採択された魅力的な飲食店の出店も決まっていて、今後の発展が楽しみである。自店にも何かできる事はないか模索している」とのコメントがあった。

| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期D I | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業 況 | 6.7 | 66.7 | 26.7 | ▲20.0 | 上 昇 |
| 売上高 | 31.3 | 37.5 | 31.3 | 0.0 | 上 昇 |
| 採 算 | 18.8 | 31.3 | 50.0 | ▲31.2 | 横ばい |

【サービス業】 景気ムード…【安 定】

『**クリーニング**』…「設備更新の遅れが生産性に影響をもたらしている」「人件費、水道光熱費の上昇が経営を圧迫している」とのコメントが寄せられた。

『**運輸・倉庫**』…「燃料の値上げが利益を圧迫している。ロシアとウクライナの戦争が終結しないと安定しない」とのコメントが寄せられた。

『**自動車整備**』…「人員確保が喫緊の課題である」とのコメントが寄せられた。

『**不動産**』…「資材高騰の影響を受け、建売・注文住宅ともにやや停滞気味」「商談は少しずつ増加傾向である」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては「アパートの建設が目立つ。このまま回復していけばコロナ前に戻って利益につながると予測する」「取引は前期と同様に好転している」とのコメントが寄せられた。

『**求人広告・広告デザイン**』…「求人需要は増加しているが、就業人口減少により応募者数が極端に減少している」「求人媒体への費用対効果に疑問を抱く企業が増加し、求人媒体への掲載は減少している。売上減少に拍車がかかると考えられる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては、「インボイス制度により、零細企業の取引に悪影響が出ないか心配」「ウクライナ関連の影響による景気悪化と物価上昇によって、見通しが付かない状況が続く」とのコメントが寄せられた。

『**専門サービス**』…「インボイス制度及び電子帳簿保存法の影響により、事務処理が倍増している」「行政書士事務所として行政手続に関する依頼が中心なのは変わらないが、介護・障害福祉事業などの制度変更に対応したい事業者からの依頼が増えている」「経費を抑えるために、苦勞してでも行政書士に頼む仕事を内製化する事業者が微増している」とのコメントが寄せられた。

『**旅行業**』…「旅館業はコロナが明けて戻りつつあるが、合宿など大人数での需要はまだ完全には戻らない。菓子製造業はモール出店の手数料が上がり、売上が上がっても利益につながらない」「コロナ5類移行に伴いスポーツの強化合宿等、イベント開催は活発化している。競技によっては会場不足に陥る程活況のときもある。一方、出費のかさむ父兄の懐具合はひっ迫しているように思われる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては「この夏で一度落ち着くと見ている。スポーツ合宿は、観光というカテゴリーでは派手さはないが着実に人流移動と経済活性化に貢献している」とのコメントが寄せられた。

『**葬祭業**』…「新規出店に向けた陣取り合戦が加速しており、この勢いは数年続きそうである。不人気業界であるが故に人材不足を如何に補うかが経営課題となりそうである」とのコメントが寄せられた。

『**各種食料品**』…「感染症による制限が撤廃され、リベンジ消費の勢いがある。しかし、このタイミングで人件費、原材料費、水道光熱費の値上がりで、飲食業はコストバランスが崩れている。各地で人手不足になり、供給が行き届かないという現状が続いていく」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては「値上げは続いていくと思う。賃金も更に上げていかないとならない。経営安定化の為、売価を上げていく必要があるが、平均賃金が上がってからでないとならぬ」とのコメントが寄せられた。

『**飲食**』…「新型コロナウイルス5類移行に伴い販売件数が増加してきている」「色々な規制がなくなったものの、飲みに出る人はコロナ前の水準まで戻っていない印象。特に平日は少ない。会社関係の懇親会が増えれば景況は改善すると思われる」「暑さ、値上げ、コロナ急増が影響し、8月の中旬以降、来店客数が減っている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては「コロナ前のように昼間営業を再開する飲食店が増えている。家族連れ等のグループ客の利用も増えていく」「日常を取り戻すことができれば、色々な意味に好転すると思う」とのコメントが寄せられた。

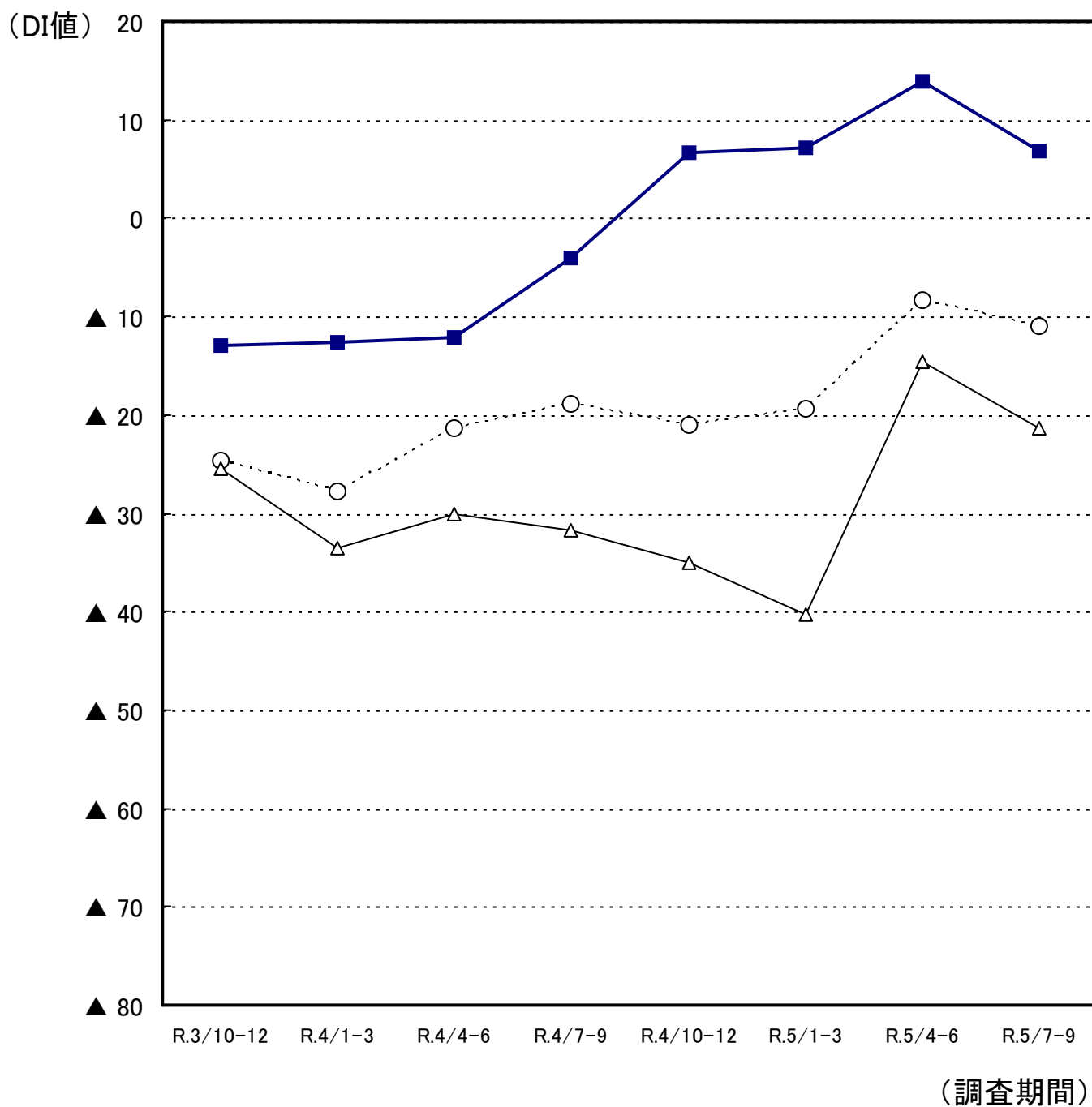
『**イベント看板**』…「行動制限がなくなりイベントも制限なくできることが喜ばしいがこれからが正念場と考えている。最低賃金上げにより資金繰りの見直しが必要となる」とのコメントが寄せられた。

『その他』…「空き店舗が増える一方で新規出店する人も出てきている」「タクシーが非常に減っている」「9月に入ってから、コロナ感染によるキャンセルが増えた」「富士市の農家の努力により、富士でも多くの種類の農作物が採れるようになった。それらを活用して様々な発信が出来たらなと思っている」「ゼロゼロ融資の返済が始まり借り換えも可能とはいうが、今後の見通しがつかず心配。倒産件数の増加も心配材料」とのコメントが寄せられた。

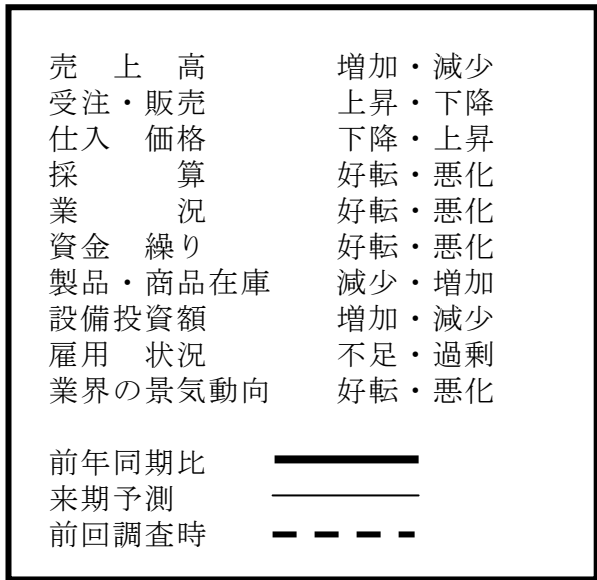
| | 好転% | 不変% | 悪化% | 今期D I | 来期予測 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| 業 況 | 23.3 | 60.0 | 16.7 | 6.6 | 横ばい |
| 売上高 | 34.4 | 50.0 | 15.6 | 18.8 | 上 昇 |
| 採 算 | 21.9 | 53.1 | 25.0 | ▲3.1 | 横ばい |

全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

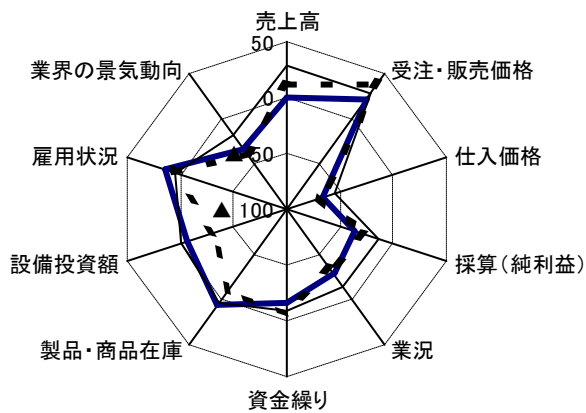
■ 売上 ○ 業況 △ 採算



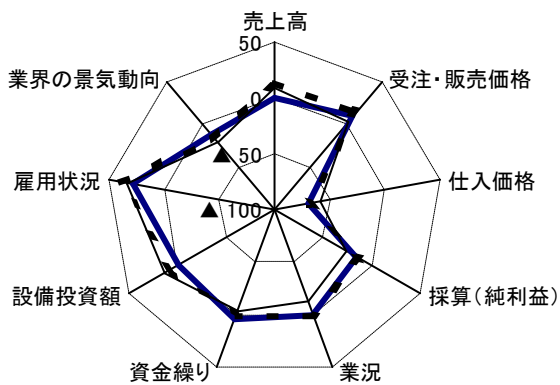
レーダーチャート



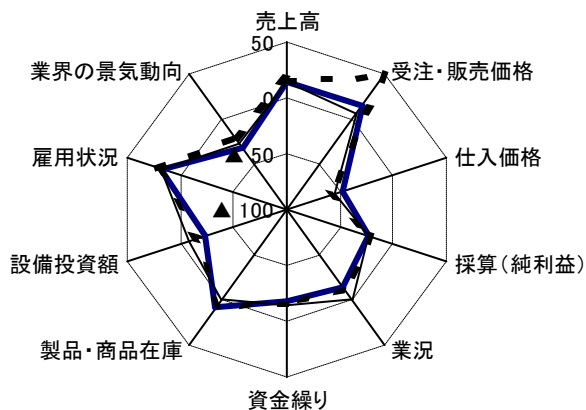
【製造業】



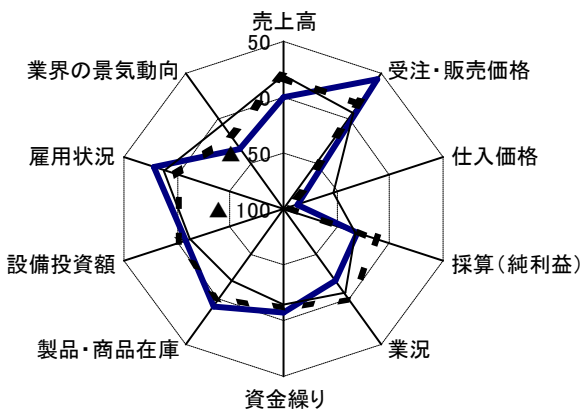
【建設業】



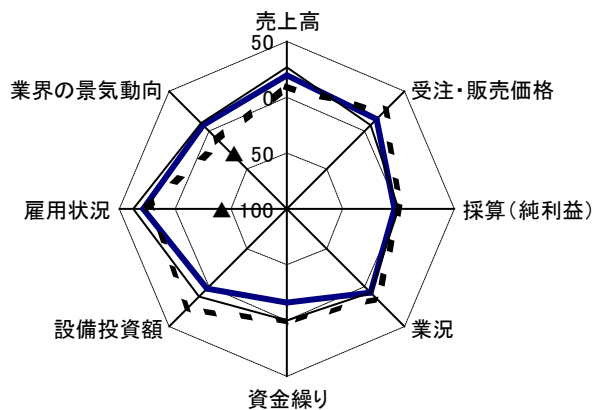
【卸売業】



【小売業】



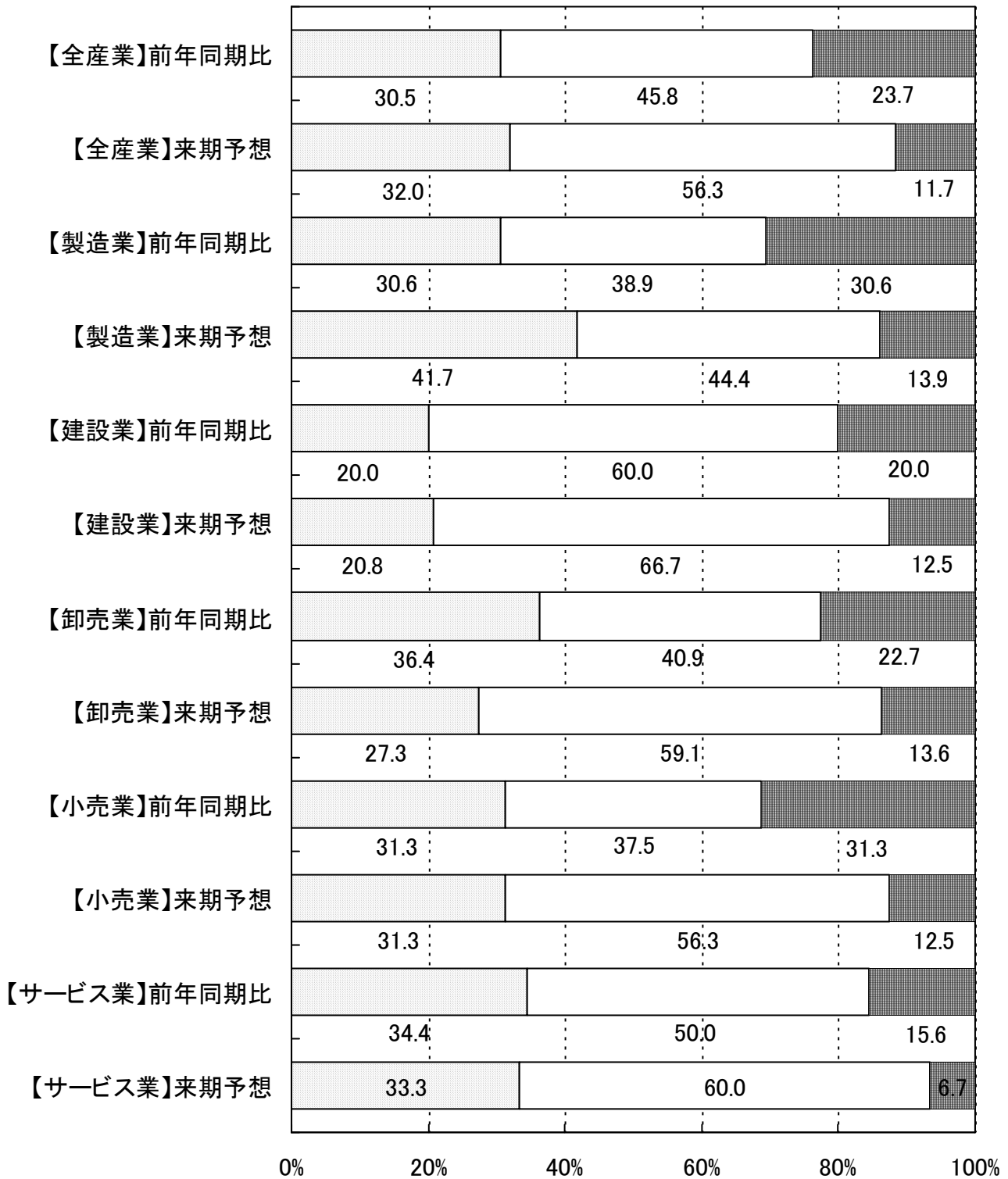
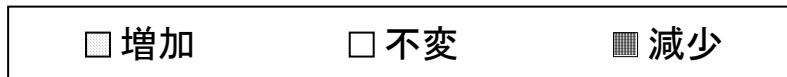
【サービス業】



◇ 経営上の問題点 ◇

| 産業別 | 上位回答項目 |
|-------|---|
| 製造業 | <p>1 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 設備老朽化</p> <p>3 位 人材不足</p> <p>その他 販売価格値上げ難／売上、利益減による資金圧迫</p> |
| 建設業 | <p>1 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 人材不足</p> <p>3 位 人件費高騰／人員不足</p> <p>その他 販売価格値上げ難／官公需停滞</p> |
| 卸売業 | <p>1 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 販売価格値上げ難</p> <p>3 位 その他の需要の低迷／人件費高騰／売上減に伴う利益減</p> <p>その他 設備老朽化</p> |
| 小売業 | <p>1 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 販売価格値上げ難</p> <p>3 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>その他 過当競争／人材不足／設備老朽化</p> |
| サービス業 | <p>1 位 人件費高騰</p> <p>2 位 販売価格値上げ難</p> <p>3 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>その他 人員不足／人材不足／設備老朽化</p> |

売上高の前年同期比と来期予測



最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2023年9月12日）

日本銀行静岡支店
照会先 TEL 054-273-4106

（経済面）県内の景気は、資源高や供給制約の影響を受けつつも、持ち直している。最終需要の動向をみると、輸出と公共投資は高水準で推移している。設備投資は製造業を中心に増加している。個人消費は緩やかに回復している。住宅投資は弱含んでいる。こうしたもとで、企業の生産は弱含んでいる。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きが足踏みしているものの、雇用者所得は緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

（金融面等）預金は、前年を上回っている。貸出は、前年を下回っている。貸出約定平均金利（総合・ストックベース）は、前月比低下している。企業倒産（負債総額 10 百万円以上）は、前年を上回ることが多くなっている。

1. 需要項目別の動向

※前回からの変化 改善 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

（1）個人消費（前回からの変化） → 緩やかに回復している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車新車登録台数・販売台数は、供給制約の影響を残しつつも、持ち直している。コンビニエンスストア売上高は、緩やかに回復している。家電販売額は横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストア売上高は、増加している。旅館・ホテルの宿泊数は、人手不足等の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

（2）公共投資（前回からの変化） → 高水準で推移している。

（公共工事請負金額前年比：23/7月▲10.7% → 23/8月29.0%）

（3）設備投資（前回からの変化） → 製造業を中心に増加している。

（短観・設備投資額：22年度計画12.6% → 23度計画13.8%）

（4）住宅投資（前回からの変化） → 弱含んでいる。

（新設住宅着工戸数前年比：23/6月▲7.3% → 23/7月▲7.6%）

（5）輸出（前回からの変化） → 高水準で推移している。

（輸出額前年比：23/6月0.0% → 23/7月2.1% <速報値>）

清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

(1) 生産(前回からの変化) → 弱含んでいる。

(鉱工業生産指数・生産<季節調整済>前月比：22/5月0.7%→6月
▲2.5%<速報値>)

自動車・同部品は、持ち直しの動きがみられている。二輪車・同部品は増勢が一服している。食料品は、幾分持ち直しているほか、電気機械は、弱めの動きとなっている。化学は、幾分持ち直している。はん用・生産用・業務用機械は、増加している。紙・パルプは、減少しており、楽器は、持ち直している。

(2) 雇用・所得(前回からの変化) → 労働需給：改善の動きが足踏みしている。(→)

雇用者所得：緩やかに改善している。(→)

(有効求人倍率 季節調整値：23/6月1.26倍→23/7月1.22倍)

(3) 物 価 前年を上回っている。

(消費者物価指数(除く生鮮食品)：前年比23/6月3.3%→23/7月3.0%)

3. 企業倒産、金融面の動向

(1) 企業倒産 . . . 前年を上回ることが多くなっている。

(23/8月、負債総額10百万円以上)をみると、倒産件数(15件<前年比：66.6%>)
負債総額(22億円<同：8.0%>)

(2) 預 金 前年を上回っている。(前年比：23/6月末+0.5%→23/7月末+0.3%)

(3) 貸 出 前年を下回っている。(前年比：23/6月末+0.2%→23/7月末▲0.3%)

(4) 貸出約定平均金利 . . . 前月比低下している。(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)
(水準：23/6月1.279%→23/7月1.272%)

以 上